

## 慶松勝太郎先生 経歴紹介



2019 年度 LEC 会計大学院入学懇親会にて

### 生い立ち

昭和 6 年（1931 年）5 月 24 日

東京市下谷区谷中真島町に生まれる。

（真島町の町名は江戸時代美作真島藩の下屋敷があったところから）

昭和 9 年（1934 年）11 月

下谷区上の桜木町番地の新築の家に移る。

水洗トイレ、ユンケルの石炭ストーブ等モダンな洋館であった。

昭和 11 年（1936 年）2 月

2・2・6 事件を記憶。この日は大雪の大変寒い日であった。阿佐ヶ谷の登記所に用事のあった母親に連れられて出かけ、あまり寒いので帰りに新宿の二幸でホットケーキを食べ暖まった。午後遅くなると家の二階に大人が集まり、勤めに出た人は帰れなくなるかもと不安げで 5 歳児ながら、何か大変なことが起きたと感じた。

昭和 11 年（1936 年）4 月

女子高等師範（現お茶の水大学）附属幼稚園入園

昭和 12 年

ヘレン・ケラー来園、代表で女の子と二人でこいのぼりを贈呈。

昭和13年(1938年)3月

同幼稚園卒園

昭和13年(1938年)4月

本郷誠志小学校入学

昭和14年(1939年)1月

豊島師範学校附属小学校へ転入学

昭和16年(1941年)12月

日米戦開戦

昭和19年(1944年)3月

豊島師範学校附属小学校卒業

昭和19年(1944年)4月

東京都立第五中学校入学 A組の級長となる

昭和19年(1944年)9月

県立奈良中学へ転入学

昭和20年(1945年)8月

日本敗戦。8月15日は良く晴れた暑い日だった。玉音放送があるということで家のラジオの前で正座して聞いた。聞き取り難かったが「耐え難きを耐え」で敗戦を悟った。

昭和21年3月

東京に戻る

昭和21年(1946年)4月

成蹊高等学校(旧制)尋常科3年転入学

昭和23年(1948年)4月

成蹊高等学校高等科進学

昭和24年(1949年)3月

新学制制度により旧制高校廃止。それまでの学制は、小学校6年、中学校5年、高等学校3年、大学3年であった。旧制の高等学校は入学が難しく、入れば大人扱いされた。7年制という中高一貫校で中学4年から試験なしに高校一年生となって喜んでいると、アメリカに倣って6・3制となり学校がなくなってしまう、新制大学受験となった。

昭和26年(1951年)4月

東京大学教養学部理科一類入学

昭和28年(1953年)4月

東京大学工学部応用化学科工業分析専修進学

昭和30年(1955年)3月

東京大学卒業

## 実務界での経歴

昭和30年（1955年）4月

江戸川化学工業株式会社入社 横浜研究室配属

昭和33年（1958年）4月

お茶の水研究所分析室配属

昭和37年（1962年）

江戸川化学、三菱江戸川化学（株）と改称。江戸川化学は三菱製紙の子会社のような形で設立され、もともと三菱系であったが、正式に三菱を名乗ることとなった。

昭和40年（1965年）1月

本社企画室技術部配属

昭和46年（1971年）9月

三菱江戸川化学（株）日本瓦斯化学（株）の合併により  
三菱瓦斯化学（株）となる。同社技術部配属

昭和51年（1975年）3月

ニューヨーク駐在員

昭和55年（1979年）8月

帰国、本社技術企画部配属

昭和56年（1980年）6月

技術企画部長

昭和62年（1986年）1月

浪速工場次長

昭和62年（1986年）6月

取締役浪速工場長

昭和63年（1987年）6月

化学品第二本部副本部長

昭和64年（1988年）6月

常務取締役化学品第二本部長

平成5年（1993年）6月

専務取締役

平成6年（1994年）6月

三菱ガス化学（株）退社

永和化成工業株式会社代表取締役社長

平成12年（2000年）6月

永和化成工業（株）社長退任 相談役

平成13年6月

相談役退任

## 学界での経歴

平成13年（2001年）4月

東京経済大学大学院経営学研究科入学

平成17年（2005年）4月

LEC会計大学院教授（経営学担当）

平成19年（2007年）3月

東京経済大学大学院経営学研究科博士後期課程終了 博士（経営学）

平成22年（2010年）4月

LEC会計大学院特任教授、LEC会計大学院副学長

平成29年（2017年）2月

LEC会計大学院特任教授退任

令和2年（2020年）3月

LEC会計大学院副学長退任

以上